

# >>> 平成26年度「いもち病」「ばか苗病」防除のチェックポイント >>>

- ・ブラスタムによる葉いもちの感染好適日が現れています。以下の点に注意して、いもち病防除を確実に行いましょう。
- ・生育が早まっています。「ばか苗病」撲滅に向けて、早めの抜き取り等のご協力を、お願いします。

## いもち病の耕種的防除

### ●本田（置き苗の処分）

補植用の置き苗は伝染源となるため、堆肥化するなど早急に処分する！

【写真①】



### ●畦畔（ゴミ処分）

畦畔のゴミも伝染源となるため、早急に処分する！

【写真②】



## いもち病早期発見のチェックポイント

### ●水田内見回り時期

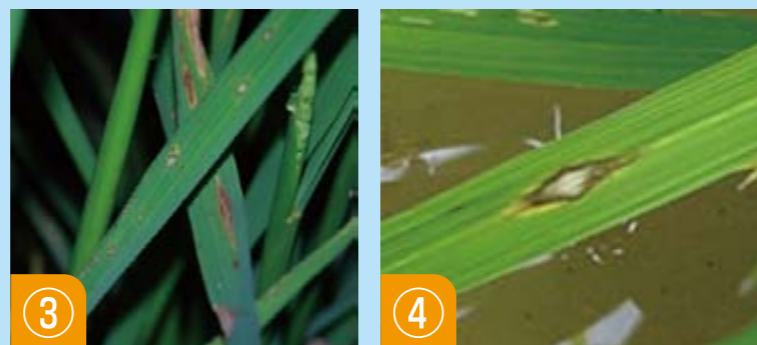
ブラスタム（北海道病害虫防除所）  
（<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>）  
を活用し効率的に

- 感染好適日の約1週間後に見回り
- 幼穂形成期5日後頃は見回り強化
- 病斑を発見したら【写真③④】、直ちに茎葉散布

●MBI-D剤（商品名：デラウス・ウィン・アチーブおよびこれらを含む混合剤）の効果が心配される場合は、使用しない。

### ●見回り場所・方法

- いもち病が発生しやすい場所
    - ・ 去年の発生場所
    - ・ 葉色が濃い場所
    - ・ 風通しが悪い場所
  - 株をかき分け下葉を重点的に観察する
- 【写真③④】



葉いもち病斑

## ばか苗病防除(対応)のチェックポイント

### ●ばか苗病の本田での病徴

- ・ 潜伏感染苗は移植後に本田で発病し、徒長症状を示す。【写真⑤⑥⑦】
- ・ 発病株は出穂前に枯死し、枯死株には白色～淡紅色の粉状のカビが一面に発生する。【写真⑧】
- ・ この孢子が百メートル以上飛散して、開花期の籾に感染し、翌年の伝染源となる。（種子伝染）

### ●ばか苗病の対応方法

- ・ 発病株は株ごと根付きで抜き取る。
- ・ 抜き取りは写真⑧では手遅れで、写真⑤⑥の段階までに行い、出穂前に抜き取りを完了する。
- ・ 疑似症状株も抜き取る（写真⑦やや長い草丈と葉の黄変）。
- ・ 抜き取った株は、土中に埋めるなど適切に処分する。  
（本病は発病後に効果のある防除薬剤はないが、的確な種子消毒により防除できる。）



本田での発病 H25.6.27



本田での発病 H25.7.23



疑似症状株 H25.7.17



枯死株について孢子 H24.7.28